

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、28～30℃台を示し、やや高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり24トンの水揚げで、前週の2倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり0.4トンの水揚げで、前週の40%（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり20トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり5kgの水揚げで、前週の1.7倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり151kgの水揚げで、前週の45%（前年を上回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり102kgの水揚げで、前週の1.7倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり2トンの水揚げで、前週の61%（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり30kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年を下回った）。
- 定置網――対馬西岸地区では、ブリなどが1日1統当たり41kgの水揚げ。対馬東岸地区では、カンパチなどが1日1統当たり62kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり81kgの水揚げで前週並み（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（8/20～8/25の6日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、八戸沖で操業。アカイカ漁は北太平洋で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山口沖、山陰沖、能登沖、佐渡沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第7-15号 小トビ（トビウオ未成魚）飛翔目視調査結果」・「第7-16号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を公表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>